

知っていますか？人気犬種の雑学知識①～トイ・プードル編～

わが家のワンちゃんについてだけでなく、他の犬種の特徴を知っていれば、お友達との話題も広がりますね！今回は、一般社団法人ジャパンケネルクラブ（JKC）の犬種別犬籍登録頭数、2008年から11年間、第一位を守っているプードルについての雑学知識をお届けします。

☺ 世界の中のプードル人気

プードルの中には、4種類の大きさのプードルが含まれていますが、登録数の9割以上がトイ・プードルです。日本のトイ・プードル人気は世界一です。もちろんプードルは日本以外でも人気が高い犬種で、アメリカAKCでも8位ですが、トイ・プードルは多くありません。プードルの原産国はフランスですが、ヨーロッパではトイ・プードルは非常にレアな存在で、人気を誇るのは、ミニチュア・プードル、ミディアム・プードル、次いでスタンダード・プードルです。



☺ 注意したいこと

毛が抜け替わらずに伸び続けるので、定期的なカットやトリミングが必要で、育てていくうえにその分の費用がかかります。もちろん、飼い主さんによる小まめなブラッシングなどのお手入れも欠かせません。また頻繁な繁殖と小型化の繰り返いで、犬種固有の遺伝的疾患などが出る場合もあります。もともと健康的で活発な犬種ですが、糸網膜が萎縮する目の病気や、ホルモンの過剰分泌の病気、小型犬に多く見られる心臓病などに注意が必要です。

特に、膝蓋骨脱臼（しつがいこつたっきょう）という、後ろ脚の膝蓋骨がずれたり外れたりする疾患が、先天性後天性ともに多い傾向があります。ジャンプなどが得意な犬種ですから、要注意です。



☺ トイ・プードルの人気の秘密

プードルの最大の特徴は、その被毛にあります。換毛期（年2回、春と秋に毛が抜け替わる時期）のある犬とは違い、シングルコートと言う毛質のため、換毛期がありません。そのため、大量に毛が抜けて、飼い主さんの服や車の中が毛だらけになったり、掃除に手間が掛かたりしません。もちろん動物アレルギーに関して、換毛期がある犬種より避けられる可能性があります。

性格は明るく穏やかで、訓練性も高く、愛玩犬として非常に飼いやすい犬種です。又、ラブラドル・レトリバーやミニチュア・ダックスフンドなどの犬種とのMIX犬も人気です☺

プードルの大きさに困る分類

生後1歳を過ぎた時点

- | | |
|--|---|
| <p>スタンダード</p> <ul style="list-style-type: none"> • 体高45cm～60cm • 体重16kg～25kg前後 • お座りした時の頭までの高さ80cm | <p>ミニチュア</p> <ul style="list-style-type: none"> • 体高28cm～38cm • 体重6kg～7kg前後 • お座りした時の頭までの高さ50cm |
| <p>ミディアム</p> <ul style="list-style-type: none"> • 体高38cm～45cm • 体重8kg～15kg前後 • お座りした時の頭までの高さ65cm | <p>トイ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 体高28cm以下
(26cmが望ましい) • 体重3kg前後 • お座りした時の頭までの高さ38cm |

わんちゃん募集！！

毎月リファインおおがきのチラシにて可愛い家族わんちゃんの写真を載せていきたいと思っています。いただける方はぜひご連絡をお待ちしています。撮っていただいた写真のデータをいただくか、私達がお伺いして撮影させていただきます。

Panasonic リフォーム Club
リファインおおがき

株式会社イッシン

〒503-0917 大垣市神田町1丁目76

TEL:0120-36-1198

TEL:0584-82-3611

FAX:0584-82-3633

URL: <http://issin.reform-c.jp> E-mail: info@issink.jp

建設業許可/ 建築業許可(第-24)第12834号 一般建築士事務所登録/ 建築業許可登録第6626号



番外編

お家で暮らす愛猫の気持ちを考えて、
ストレスのかからない
ライフスタイルを実現！



施工例紹介



今回は愛猫家のためのリフォーム！！



猫の特性として「高いところが好き」ということを耳にしたことがある方は多いと思います。猫の祖先は、狩りをしながら木の上で生活していたため、その習性が残っているとされています。動物園などでネコ科の動物を見ると、木に登って休んでいる姿を良く目にするのはそのためです。

プロの技が光る
見えない工夫がうれしい！

和室の壁に面配置された
キャットウォークは、壁に
貼り付けているだけでは
ありません。



実は、壁をくり抜いて木の板を壁の中でしっかりと固定しています。そのため、事前に壁の中にある下地を調査して、その場所に合わせてキャットウォークを面配置しています。こうすることで大きな猫でも安心して歩き回ることができ、また、見た目にもスッキリとしたキャットウォークに。



「ニオイ」の問題は、
材料の工夫で解消！

和室全体には、消臭・
除菌・調湿・自浄効果に
優れた塗り壁材の
「深呼吸」という素材を
採用し、さらに、衛生面を考慮して、食事と排泄の
スペースを分離して造った「猫トイレ置き場」の内壁にも
同じ材料を使用しました。



リビングのキャット
ウォークは吊り橋！

和室とリビングには
キャットウォークを廻らし、
リビングは部屋の中に
吊り橋を渡しました。行き止まりを作らないことで
完全室内飼育でも猫が自由に運動でき、水平・垂直
方向へ活き活きと動き回り、とても可愛い姿を
見せてくれます。余談ですが、最初は吊り橋の揺れに
ビックリする猫ちゃんもいるようです。



高い所の無い室内で飼育すると、キッチンに登ったり、食卓に登ってきたりすることが多く、「しつけ」をされる方もいらっしゃると思いますが、これは「本能」で行動してしまうので、猫が登れる高い場所を用意してあげることが、大切かもしれません。

今回ご紹介する愛猫家リフォームは、リビングに隣接している和室を愛猫のための部屋への一新。キャットウォークやトイレ、寝床など、猫にとって居心地の良い空間にリフォームしました。

Before



After



遊びたいっばいの
キャットステップ

元々リビング横の和室に猫のグッズを収納して、小さなキャットタワーを置いておくといった飼育をされていましたが、高い所が少なく、また排泄物の臭いも気になるといったお悩みを抱えていました。そこで、壁一面にキャットステップを敷き、和室とリビングの境目に丸い穴を開け、リビング側にもキャットウォークを敷き、愛猫の居場所を広くと確保しました。また、気になっていた臭いも、臭いを分解してくれる素材を採用することで解消。